

# The Rotary Club of KOBE-NORTH

Weekly  Bulletin

NO.26 通算 2015 回

2016~2017 年度 RI テーマ



人類に  
奉仕する  
ロータリー

## ROTARY SERVING HUMANITY

クラブ会長のテーマ

「元気で楽しい例会を」

— 身体も心も —

会長 八十島 典子 幹事 茅園 建新

### 今週の例会プログラム(1月27日)

#### 「今知っておきたい防災の知識」

(有)西神戸防災センター所長

西岡 保雄氏 担当:山田会員

ソング: 冬景色

### 次週の例会プログラム(2月5日)

#### 「神戸第2グループ I.M」

山下 英世ガバナー補佐

担当:神戸須磨 RC

【平成 29 年 1 月 20 日の例会より】

### 会 長 報 告 (八十島会長)

今日は大寒です。暦通り寒さが厳しくなっています。

皆様、体調管理には十分気をつけてください。

また、今日は何の日で「二十日正月」といってお正月行事はこの日までに終わらせる日とのことです。

また、昨年度末で閉鎖した神戸ハーバーロータリーの会長、幹事に当クラブへの勧誘してみましたが、残務処理などあり半年は移籍しないとのことでした。半年後には是非にとお誘いしておきました。皆様もお声がけできるかたがいまして、お誘いの程よろしくお願いたします。



### 幹 事 報 告 (茅園幹事)

#### 1. ガバナー事務所より

- ・豊岡ロータリークラブ 地区補助金プロジェクト見学のご案内

日時: 20 月 10 日 (金) 13:30~13:30 場所: 豊岡市市民会館 3 階ギャラリー1

プロジェクト名: 「オオサンショウウオの生息環境調査と保護活動の支援」

#### 2. RI より 2017-18 年度 イアン H.S. ライズリー RI 会長より

次年度のテーマが発表されました。

— 一次年度のテーマ —

「ロータリー: 変化をもたらす」 「Rotary: Making a Difference」

#### 3. 第 39 回 RYLA (ライラ) セミナー参加申込書が届いております。

例会場 ANAクラウンプラザホテル神戸 9F 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目1 TEL. 078-291-1121

例会日 金 曜 日 18:30~19:30

事務局 ANAクラウンプラザホテル神戸 11F 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目1

TEL 078-231-2211 FAX 078-231-2211

E-mail: [info@rotarykn.com](mailto:info@rotarykn.com)

ホームページ: <http://rotarykn.com>

4. ハイライト米山 202 号を他クラブの週報と共に回覧します。

## 委員会・同好会報告

・プログラム委員会

美崎委員長

### 2月の例会プログラム予定

| 2月3日                                   | 2月10日           | 2月17日           | 2月24日   |
|--|-----------------|-----------------|---|
| 2月5日I.Mに移動<br>場所：ポートピアホテル<br>開会：15：00～ | 会員卓話<br>井関 勇司会員 | 会員卓話<br>矢野 裕詞会員 | 「イギリス留学を振り返って」<br>元RI財団留学生 原田 早苗氏<br>担当：石田 義治会員 |

## 本日の例会プログラム

「少子化を迎えて」

大阪経済大学理事長 佐藤 武司氏

少子化とは、親世代より子世代が少なくなることを言っているわけで、いわゆる総人口に占める子供の人口割合が低下するという事です。

ところで、昨年(2016年)の年末(12月25日)の日経新聞の社説にも載っていました様に、2016年、正に新生児の数が100万人を割り、98万1千人にとどまるとの集計を厚生労働省から発表されました。

第一次ベビーブーム(昭和23～24年頃)の時の新生児は260万人、第二次ベビーブーム(昭和54年)は200万人、正に昨年はその半分、これから、年々減り続け、我が国も大変な時代をむかえようとしています。

我が国の総人口は2030年(平成42年=13年先)の1億1千662万人をピークに= (このころまで年寄りが沢山生きていくということでしょうね)、2048年(平成60年)には1億人を割って9千9百13万人となり、2060年(平成72年)には8千674万人になると見込まれております。

いわゆる、生産年齢(15歳～64歳人口)は2010年(平成22年=7年前)の63.8%から減少を続け、2017年(今年ですね)には60%台を割ったのち、2060年(平成72年)には50.9%に対し、高齢人口(65歳以上の人口)は2010年(平成22年)の2.948万人から、団塊の世代及び第2次ベビーブーム世代が高齢人口に入る2042年(平成54年)には、3.878万人とピークを迎え、その後は減少に転じ2060年(平成72年)には、3.464万人となり、高齢化率は2010年(平成22年)の23%から2060年(平成72年)には、39.9%すなわち25人に一人が65以上になると言う事だそうです。

では少子化になる原因と社会に及ぼす影響を考えてみますと、まず結婚に対する意識の変化で、未婚化、非婚化、晩婚化、考えられます。

具体的には、出産に対する考え方が変わると同時に、若い世代の所得の伸び悩みも懸念材料かもしれません。(子育てにお金がかかるから)就労形態など家族形態の状況の変化もあるでしょう。グローバル化に伴う厳しい社会情勢と就労環境の変化にも影響されるのではないかとも思われます。(先が見えない)

待機児童問題なども原因の一つかも知れません。

少子化の問題を考えますと、ざっと以上のような事が考えられます。

そして少子化になるといろんな面で影響が考えられますが、経済面の影響としては、生産年齢の減少=労働人口の減少につながります。



17：45～ RI 会長代理歓迎晩餐会（希望者/会費 20.000 円）

3月5日（日）

9：00～ 受付開始

10：00～ 本会議（出席要請者：全員登録）

12：00～ 昼食（用意あり）

13：15～ 講演：高橋政代氏 「再生医療の最先線」

17：00～ 会員・家族懇親会

場所：神戸ポートピアホテル



### 今 週 の 歌

#### 『景色』

一、さ霧消ゆる 湊江の

舟に白し 朝の霜

ただ水鳥の 声はして

いまだ覚めず 岸の家

二、鳥なきて 木に高く

人は畑に 麦を踏む

げに小春日の のどけしや

かえり咲の 花も見ゆ